

島原地域広域市町村圏組合

第7期介護保険事業計画パブリックコメントの結果について

1. 報告の趣旨

標記事業計画（素案）に対するパブリックコメントを実施しましたので、その結果について報告するものであります。

2. 報告内容

(1) パブリックコメントの概要

- 意見募集期間 平成30年1月4日（木）から1月25日（木）
- 閲覧場所 島原地域広域市町村圏組合介護保険課、島原市福祉保健部保険健康課、雲仙市健康福祉部福祉課、南島原市福祉保健部福祉課
- 意見を提出できる方 本組合の構成市である島原市、雲仙市及び南島原市に在住・勤務・在学の方、構成市内の事業者及び団体
- 提出方法 郵送・FAX・窓口持参によりご提出

(2) 実施結果

- 提出者別 個人1件、事業者及び団体0件
- 提出方法別 郵送0件、FAX1件、窓口持参0件
- 意見総数 4件
- ご意見と本組合の考え方

項目	件数	本組合の考え方
地域包括ケアシステムの早期構築をすべきであって、2025年度では遅すぎる。	1	本計画の期間は2025年までの中長期的な視野に立った施策展開を図ることとし、基本目標においても「いつまでもいきいきと健康に住み慣れた地域で生活を継続」するための施策として、「地域包括ケアシステムの推進」を記載しています。今後とも、地域課題やニーズに基づき、必要に応じて早期的な構築に向けて取り組んでまいります。
2016年調査によると、開設10年以内で空きベッドのある特養のうち、職員の採用が難しいことが理由でベッドに空きがある施設は13%に上っている。今後、人手不足は続くのではないか。	1	本組合の管内においては、人材不足による特養の空きベッドは発生しておりませんが、今後とも人材確保と育成に関係機関とともに取り組んでまいります。
在宅医療・介護の充実が求められています。	1	本計画では、平成30年度には「在宅医療・介護連携相談センター（島原市においては平成29年度から）」を設置し、在宅医療・介護連携の推進をすることとしております。
福祉有償運送ボランティアの募集をお願いしたい。	1	今後、必要に応じて検討してまいります。

